

生育診断ほ調査結果と今後の管理

令和 7 (2025) 年 6 月 16 日

那須農業振興事務所

- ・ **茎数を確認し、間断かん水を開始しましょう**
- ・ **向こう 1 ヶ月は高温の予報→病気・害虫の多発に注意！**
- ・ 管内北部：草丈は前年並み、茎数は前年より多い
- ・ 管内南部：草丈は前年並み、茎数は前年より少ない

1 現在の生育状況

水稻生育診断ほ調査結果(調査日：6/9、品種：コシヒカリ、施肥：全量基肥)

調査地点	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢	葉色 (葉色板)	生育診断値 (葉色×茎数)
北部 (那須町寺子丙)	5/10	31.8	272	7.3	3.4	928
		100%	111%	+0.5	-0.4	100%
南部 (那須塩原市一区町)	5/2	38.1	469	8.0	4.5	2,087
		98%	91%	-0.9	+0.1	92%

※下段は前年比及び前年差、南部は前年と栽植密度が異なるため下段は参考値

- ・ 草丈：北部、南部ともに前年並み
- ・ 茎数：前年と比べて北部は多く、南部は少ない
- ・ 葉齢：前年と比べて北部は 0.5 枚多く、南部は 0.9 枚少ない
- ・ 葉色：北部は前年と比べてやや淡く、南部は前年並み

2 今後の管理

- ・ 現在の生育状況から、管内南部ではすでに間断かん水開始のタイミングを迎えたほ場も見られます。タイミングを逃さないために、右の表を参考に**茎数を確認してから、間断かん水を開始しましょう。**

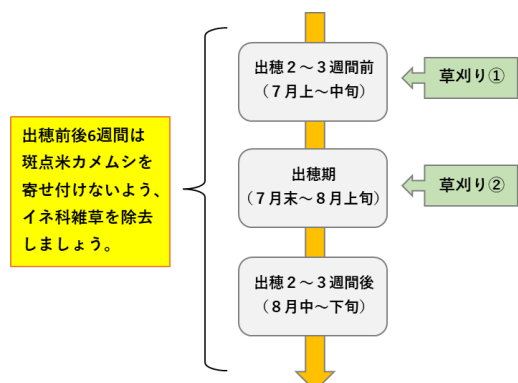
間断かん水を行うと、無駄な分げつ発生が抑制されて茎が太くなるため、倒伏防止に有効です。

- ・ 斑点米カメムシによる被害防止のために、畦畔の草刈りを①出穂期 2～3 週間前、②出穂期頃の計 2 回行いましょう。

畦畔の雑草は、斑点米カメムシが本田内へ侵入するための中継点になります。そのため、きちんと除草を行うことで、斑点米カメムシをほ場に近づけない効果が期待できます。

間断かん水開始のタイミング

栽植密度	1 株茎数
50 株/坪	20 本
60 株/坪	16 本
70 株/坪	14 本



畦畔の草刈りのタイミング

- ・BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、那須、黒磯、大田原で6/4に※準感染好適条件が出現しています。いもち病は気温が25～28℃程度で、湿度が高いときに発生しやすく、梅雨に入ると感染拡大しやすくなります。ほ場をよく見回り、早めの発見・防除に努めましょう。

※準感染好適条件：葉いもち病の感染に必要な条件を完全には満たさないが、葉いもち病の感染が起こる可能性がある条件。



葉いもち

3 田植え後の気象

R7 アメダスデータ

地点	期間	日平均気温 (°C)			積算降水量 (mm)			積算日照時間 (時間)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
北部 (黒磯)	5/10～ 6/9	17.5	16.6	+0.9	3.2	4.7	68%	4.9	5.6	88%
南部 (大田原)	5/2～ 6/9	18.0	17.0	+1.0	5.2	4.4	117%	5.2	5.9	88%

- ・平均気温は、平年より 0.9℃（北部）、1.0℃（南部）高かった
- ・積算降水量は、北部では平年比 68%とかなり少なく、南部では平年比 117%とやや多かった
- ・積算日照時間は、北部、南部ともに平年比 88%とやや少なかった

(参考) 今後の気象（関東甲信越地方 1 ヶ月予報、6/5 気象庁発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)				
気温	関東甲信越地方	向こう1か月 06/07～07/06	10	80
		1 週目 06/07～06/13	20	70
		2 週目 06/14～06/20	10	80
		3～4 週目 06/21～07/04	30	60
降水量	関東甲信越地方	向こう1か月 06/07～07/06	30	40
日照時間	関東甲信越地方	向こう1か月 06/07～07/06	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

向こう1ヶ月の気象予報

- ・気温：高い確率 80%
- ・降水量：多い確率 40%
- ・日照時間：平年並みの確率 40%



今後、生育が早まり、分げつ発生が促進される可能性が高い

→間断かん水で無駄な分げつ発生を抑制しましょう

また、気温が高いことで病気・害虫の発生が多くなる可能性が高い

→ほ場の見回りや防除の徹底を心がけましょう



4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

家族や仲間から、作業者へ「声かけ」（注意喚起）をしましょう。